




事業番号	08 02 03	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	広域連携誘客促進事業		部局	観光部	課・室	観光誘客課
			実施期間	H25～	E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	観光消費額					
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 旅行動向は、日帰り客及び個人旅行の割合が増加してきている。 インターネット、SNSの急速な普及により観光情報の取得方法も変化してきている。 【目指す姿】 平成29年夏の「信州デスティネーションキャンペーン」を一過性のものにせず、今後の観光地域づくりに繋げていくため、地域との連動をより重視し、デジタルプロモーションを中心とした情報発信を展開していくとともに、広域連携により「山の信州」の強みを活かした長期滞在できる山岳高原リゾートの形成と観光客の増を目指す。 【実施内容】 北陸新幹線を活用した広域周遊観光プロモーション、スキー誘客イベント等「スノーリゾート信州」プロモーションの実施、「木曽観光復興対策協議会」による貸切ツアーバス助成や二次アクセス対策の実施 等											
	指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]											
	No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
	1	観光消費額(暦年)	7,093億円	8,146億円	8,769億円	7,618億円	達成		予算額	前年度繰越		
	2	延べ宿泊者数(暦年)	1,799万人	1,833万人	1,806万人	2,075万人	未達成			現計予算	102,725	553,313
	3	県内スキー場延利用者数(11月～翌5月)	657万人	640万人	552万人	700万人	未達成			合計(A)	102,725	553,313
	4	木曽地域観光利用者数(暦年)	218万人	216万人	225万人	249万人	未達成			うち一般財源	97,173	115,023
								決算額(B)	98,336	110,726		
								職員数(人)	5.2	5.4		
成果指標設定理由	①「稼ぐ力」を示す観光消費額の増加が本事業の成果測定に適しているため指標に設定 ②滞在型周遊観光の指標となる延べ宿泊者数の増加が本事業の成果測定に適しているため指標に設定 ③スノーリゾート振興の指標となる県内スキー場延利用者数の増加が本事業の成果測定に適しているため指標に設定 ④御岳山噴火災害からの復興の指標となる木曽地域観光利用者数の増加が本事業の成果測定に適しているため指標に設定											
達成状況の分析	①県外観光客の消費額増等により目標値を達成、広域連携による誘客促進に係る取組の成果が表れている。 ②台風災害や雪不足の影響等により宿泊者数が減少 ③台風災害や雪不足、新型コロナウイルス感染症の影響等によりスキー場利用者数が減少 ④木曽町側からの頂上登山が再開したものの御嶽山周辺の観光地については依然厳しい状況が続いている。											

主な取組	広域周遊観光プロモーションによる関西圏等からの誘客を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・JR西日本や新潟県、富山県等と連携して北陸新幹線を活用した旅行商品造成支援や協働プロモーションイベントを実施(JR大阪駅等) ・「ツーリズムEXPOジャパン2019」での長野県観光ブースを出展し、出展団体のPR、マッチングシステムを活用した商談会等を実施(ブース来場者16,777名) ・台風により落ち込んだ観光需要を早期回復するため、「長野県ふっこう割」を実施 	 (ツーリズムEXPOジャパン2019)
	「スノーリゾート信州」のブランディング、スキーマーケットの拡大を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「スノーリゾート信州」のブランディングを図るオープンイベントや誘客キャンペーンの実施(11/1～2) ・スキーマーケットの拡大に向け、県内小中学生への優待リフト割引券の配布やリフト券等プレゼントキャンペーンの実施(対象約17万人) ・宣伝物の作成や各種メディア、イベント等を活用した情報発信 	 (「スノーリゾート信州」オープンイベント)
	「木曽観光復興対策協議会」による木曽地域への誘客促進を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアや誘客イベント等を活用した情報発信(安全登山啓発4回等) ・貸切ツアーバス助成や二次アクセス対策による誘客促進(バス424台、参加13,760名) 	 (御嶽山登山を推進)

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊観光プロモーション プロモーションや台風災害からの「ふっこう割」により観光客数は回復基調にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響で年度末から観光客が激減している。 ・「スノーリゾート信州」プロモーション 暖冬による深刻な雪不足や新型コロナウイルス感染拡大などの外的要因によりスキー場延利用者数が大きく減少。 ・「木曽観光復興対策協議会」 登山道一部規制緩和による登山客増加があるものの台風災害やコロナ感染症の影響により誘客施策の甲斐なく観光客数は大きく減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊観光プロモーション Withコロナを見据え、本県の強みである密にならない自然を活かしたアクティビティ等の観光コンテンツを中心としたプロモーションを展開 ・「スノーリゾート信州」プロモーション 新型コロナの治療薬やワクチンが実用化されるまではコロナとの共存を前提に、安心安全のスノーリゾート経営の在り方を検討 ・「木曽観光復興対策協議会」 発足から7年経過、支援終了目安としていた玉滝側登山口がR2年再開となるため終了時期を検討

事業名	広域連携誘客促進事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
-----	------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	観光誘客促進事業		42,388 千円	52,178 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	北陸新幹線を活用した広域周遊観光推進事業	負担金	以下の連携事業を実施 ・JR西日本：AGTトリップ、旅行商品造成支援、観光素材説明会 ・新潟県：大阪駅での共同プロモーションイベント開催 ・富山県：旅行商品造成支援、駅ポスター掲出、旅の手帳掲載	
2	地図パンフレットの作成・配布	直接	「長野県観光マップ」の作成・配布（20万部）	
3	日本観光振興協会負担金	負担金	（公社）日本観光振興協会が実施する広域事業に係る県負担金	
4	誘客推進員の配置	直接	誘客推進事業を担当する推進員を配置（1名）	
5	テーマ別ツーリズム協議会負担金	負担金	・宙ツーリズム推進協議会：総会での県内星空観光の取組発表 ・信州シルクロード協議会：PRイベントの開催（東京） 招聘事業の実施（岡谷市等）	
6	しあわせ信州アルクマファンクラブ	委託	HP保守管理業務を外部委託【掲載施設約900件】	
7	「ツーリズムEXPOジャパン」出展事業	負担金	「ツーリズムEXPOジャパン2019」での長野県観光ブース出展 ・出展団体の観光パンフレット設置 ・マッチングシステムを活用した商談会 ・癒し体験（木曽ひのき等香りを楽しむ）コーナー等	
8	観光振興緊急対策事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・ふっこう割 台風により落ち込んだ観光需要を早期回復するため、旅行商品代金・宿泊料金を低廉化する事業を実施。【割引総額366,724千円、販売人数80,971人泊】 ・地域協働事業 台風災害から迅速に地域経済の復興を図るため、地域が協働して行う観光需要喚起につながる事業（新たなコンテンツづくり、海外向けプロモーション等）に助成。【応募44件、交付決定14件】 ※新型コロナウイルス感染症の影響等により、事業費437,770千円はR2年度に繰越	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	「スノーリゾート信州」プロモーション事業費		15,120 千円	17,591 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	「スノーリゾート信州」プロモーション委員会負担金	負担金	スキー誘客イベントの開催・出展、各種媒体によるPR	
2	「スノーリゾート信州」のプロモーション	委託	各種媒体を活用してスキー場への誘客を促すPRを県内外に展開 【テレビ：県内外各3局 新聞：県内1紙、県外2紙 ラジオ：県内1局】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	木曽観光復興対策事業		24,000 千円	20,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	木曽観光復興対策協議会による木曽地域への誘客促進事業	負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアや誘客イベント等を活用した情報発信【ファクトブック150部、ニュースレター（234社）の作成、安全登山啓発の実施（4回） ・貸切ツアーバス助成や二次アクセス対策等の実施【バス台数423台、参加人数13,750人】 	

事業名	広域連携誘客促進事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
-----	------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
4	信州まつもと空港と連携した周遊観光促進事業費	582 千円	582 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	地元メディアと連携したPRイベント	負担金	10/19～20 福岡市「RKBラジオまつり2019」出展 来場者数80,000人 信州まつもと空港周辺の自治体等と共同で観光や物産のPR

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
5	長野県フィルムコミッションネットワーク推進事業	6,281 千円	6,537 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	フィルムコミッションネットワーク活動の推進	負担金	県内の地域フィルムコミッション団体と市町村、県で構成する「信州フィルムコミッションネットワーク」の連絡会議を年2回（6月、1月）開催。ロケ誘致実績は、960件 {照会件数の内訳（映画ロケ163件、テレビドラマ106件、テレビ番組275件、CM142件、その他274件）}。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
6	MICE誘致促進事業	3,222 千円	5,335 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	MICE誘致推進員の配置	直接	MICE（スポーツ合宿、会議・大会等）を県内に誘致するため、信州首都圏総合活動拠点（銀座NAGANO）にMICE誘致推進員1名を配置。【誘致実績（令和元年度）】スポーツ合宿：76件、14350人泊。MICE：3件、延参加者数5,000人
2	MICE誘致に向けた情報発信の強化	直接	長野県インバウンド商談会（6月）への出展に加え、東京の旅行会社、JNTO（日本政府観光局）、中国の旅行会社等を訪問し、MICE誘致活動を実施。海外からのトレーニングキャンプ誘致としては、2020東京オリンピックに加え、新たに長野県の高地トレーニングガイドを作成し、2022北京冬季オリンピックに向けた誘致活動を行った。
3	MICE誘致促進補助	補助金	6月に補助金制度を創設。台風19号及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、申請が予定されていた4件のイベントが中止。最終的な補助金交付決定は2件、補助金額187万円となった。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
7	スポーツコミッション運営事業	6,743 千円	8,503 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	スポーツイベント・合宿誘致推進員の配置	直接	誘致推進実績 合宿件数：76件 延宿泊者数：14,350人泊
2	スポーツコミッション運営事業	直接	事前合宿誘致等のための訪中、中国国家体育総局の視察受入れ ラグビーW杯の事前合宿、マカオ、中国トライアスロンチームの合宿受入れ
3	アドバイザー設置事業	直接	2020東京オリンピック等の事前合宿を誘致するため、「長野県国際スポーツ戦略アドバイザー」を設置。主にヨーロッパ諸国からの誘致を推進。
4	事前合宿受入事業	委託	2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致：11件 海外チームのトレーニングキャンプ誘致：3件